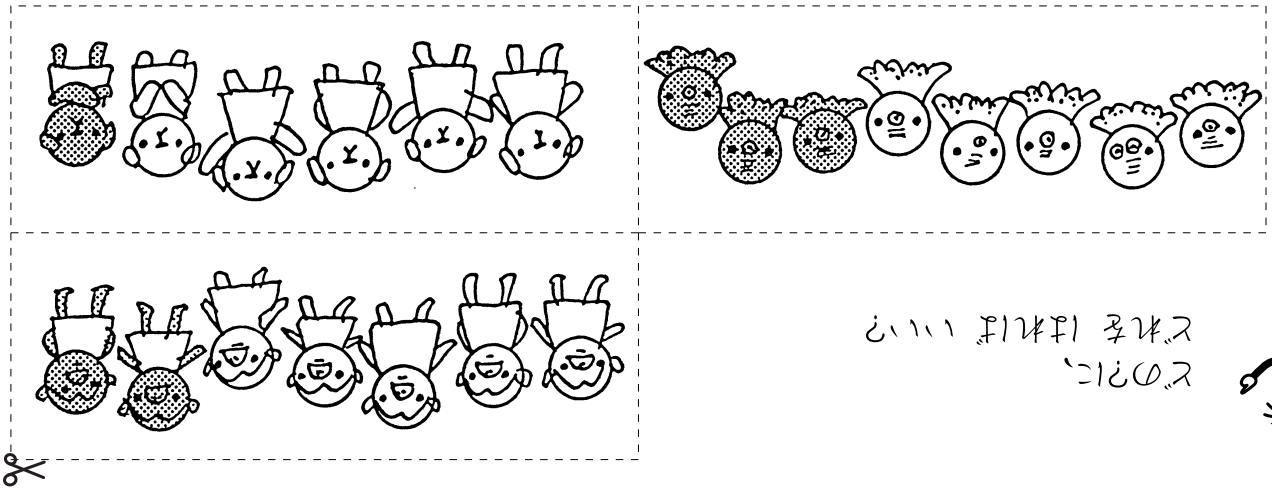

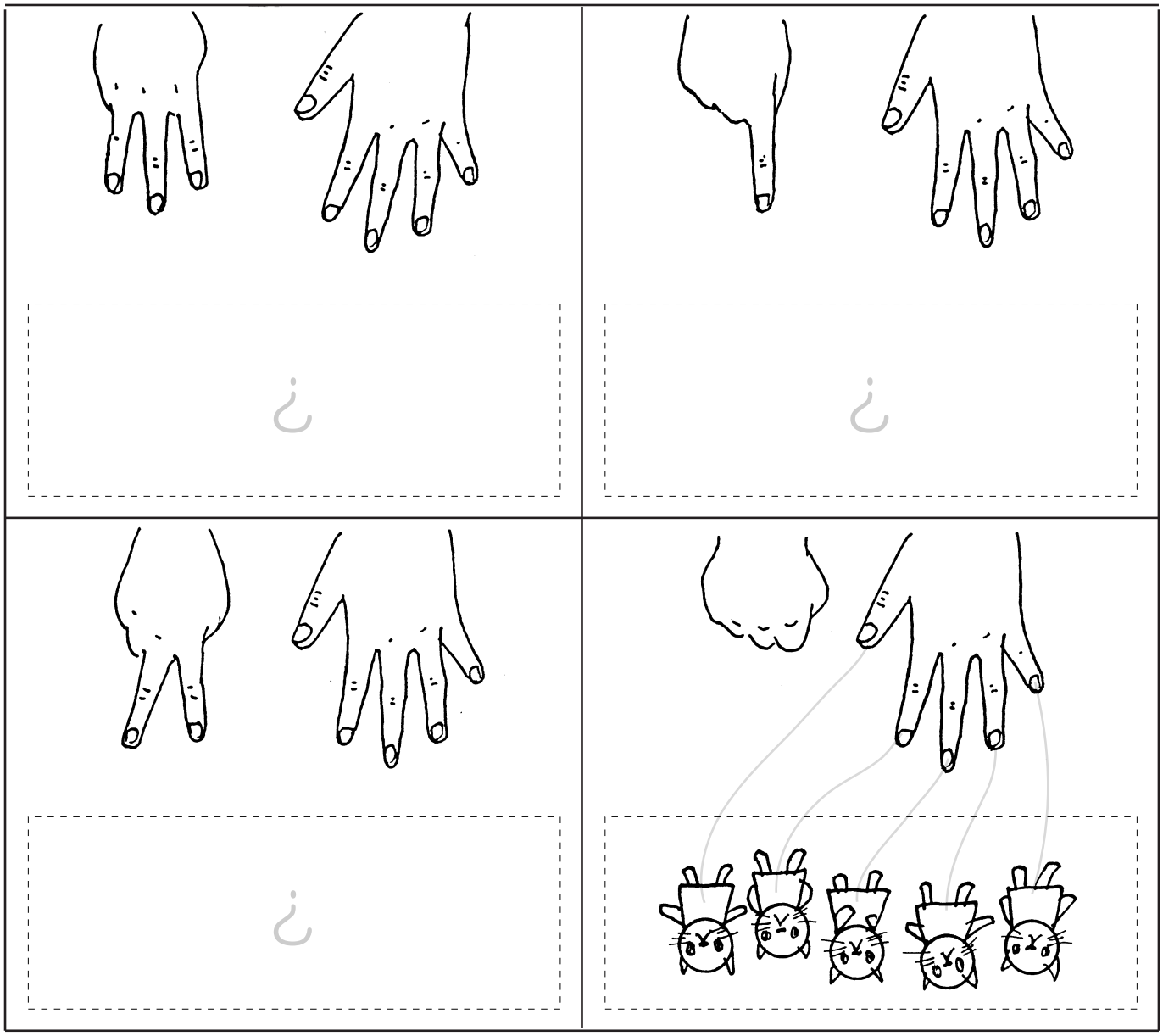

「6,7,8」と手指の対応
手指と五二進イメージ

4406 © Adeamland

1) 五つ児子ねこと手指を結んだアミ線をなぞらせ、ちょうど対応することを確かめる。
2) どこにどのキャラクターを貼ればいいかを考えさせる。
3) 貼ったキャラクターと指とを線で結んで、一対一対応を確かめる。「イッタイイチタイオウ」と言葉を教えてもいい。

a) 5,6,7,8の五二進法イメージを支えるものとしての、数と手指の対応。
b) もともと十進法は手指を起原としているのでなじみやすいが、指を計算機に使うのには便利すぎる弊害がある。特に指を折って計算すると量的イメージが希薄になる。

特定用具：不要